

26春闘で *Change and growth*

spring wage negotiations 2026
Countdown No.02

内部留保を活かして人への投資を行い、
郵政の成長と働く人たちの生活を向上させましょう

物価も利息も上がった♪
まだまだ上がるってホント？

今春までに 3593 品目の
食料品が値上げされます。
値上げ率平均は 14%で、
今後も続く見通しです。
(帝国データバンク調べ)

物価高騰を上回る賃上げが必要です！

昨年のベア **+1.62%**
非正規社員は **+ゼロ%**
昨年の物価 **+3.1%**
このままでは、くらしがもたない！
大幅賃上げまったなし！

日本郵政グループは内部留保を
7兆円も持っていて、株主還元と
株価維持に8千億円も支出して
います。 その内のわずか 2.9%で
賃上げは可能！

郵政
内部
留保
7兆円

【期間雇用社員】

- ・基本給を全国一律で
時給1700円以上に
- ・正社員と同等の手当を支給すること

【正社員】

- ・基本給を月額31000円以上引き上げ
- ・一般職の基本給を大幅に改善すること

【以下共通】

- ・物価高騰に伴う緊急措置として
特別一時金を支給すること
- ・ボーナスを4.6カ月支給すること
- ・育児・介護部分休業を有給に
- ・要員不足解消の具体的対策を

働きがいのある職場、安心して働ける職場にするために 内部留保を活用して、人への投資 = 賃上げを！

いろいろなものの価格が上がりました。貯金の利息もすこしですが上がりました。あとは働く者の賃金引き上げが必要です。内部留保を賃金引き上げのために使って、経済を活性化させて日本（郵便局）で働いてよかったと思える職場にしませんか？

日本郵政グループは内部留保を7兆円（第2 1 期中間決算）も持っています。この金額は、これまでに蓄積してきた利益のうち、配当や税金などで外部に出さずに企業内に残している部分。つまり、「将来の投資や経営の安定化」「人材への投資」などに活用できる財源でもありますが、これまでは十分に活用されてきませんでした。

株主還元、株価維持も大切ですが、そこで働く人材への投資はそれ以上に大切なことではないでしょうか。

内部留保を活用して人への投資 = 賃金引き上げを行ないましょう！

物価高騰から“くらし”を守る賃上げを求めて、私たちと一緒に声を上げましょう！！

郵政ユニオンの
主な要求

Let's unite

郵政産業労働者ユニオン中央本部（略称：郵政ユニオン）

HPは
コチラ

郵政なんでも労働相談



〒170-0012 東京都豊島区上池袋 2-34-2
郵政ではたらく誰もが入れる
労働組合です



03-5974-0816

月～金 13:00～18:00
ひとりで悩まず、まずは相談してください